救急需要の動向について

川崎市消防局警防部救急課
救急管理係長　白井　泰延

1

本市における人口と救急件数の推計について

	平成24年	平成27年	令和元年
推計 市内人口	1,431,476 ↗	1,462,341 ↗	1,531,882 ↗
推計 救急件数	62,661 ↗	65,825 ↗	75,513 ↗

2

増加し続ける救急需要

●全救急件数
　　75，513件
（搬送人員：65，128人）

11年連続

●高齢者の搬送人員
　　35，970人（55．2%）
（搬送人員に占める割合）

昨年から1，157件

※数値は令和元年中

3

救急隊への入所者情報提供書

救急隊への入所者情報提供書

4

各施設との連携

「情報連絡会」

各署管内の施設等と相互理解を深めた円滑な連携体制の構築をするための「懇談の場」として開催しております。

5

連携の途中経過・・・・

	搬送人員	現場到着～搬送開始	軽症の割合	中等症の割合	重症の割合
H26年	3922人	22.3分	26.0%	56.1%	15.0%
H27年	4310人	21.9分	26.4%	57.3%	14.7%
H28年	4857人	21.8分	26.2%	57.9%	13.9%
H29年	5518人	21.1分	26.0%	59.8%	12.5%
H30年	5841人	21.2分	27.1%	59.6%	12.0%

徐々に顔の見える関係が築かれつつあります。

今後も更に連携を深めさせていただき、より迅速な救急活動が出来ますよう御協力をお願いいたします。

7